

AQ Group が全国植樹祭に協賛
SDGs 未来都市「埼玉県」から木造建築で地球を救う
非木造建築物ブルーオーシャン戦略で 2030 年 2 万戸目指す

株式会社 AQ Group（本社：埼玉県さいたま市西区、代表取締役社長：宮沢 俊哉）は、今年 5 月 25 日（日）に、秩父ミュージックパークなどで行われる全国植樹祭に協賛しています。2 月 17 日にはさいたま共済会館で感謝状贈呈式が行われ、AQ Group 取締役の高埜宗人が大野元裕埼玉県知事から感謝状を受け取りました。

AQ Group「都市（まち）の建物を木造に変えていきたい」
“活樹”を推進する大野知事も高い関心を寄せる



大野知事より感謝状を受け取る高埜取締役



埼玉県産の檜でつくられた感謝状

AQ Group は 2025 年 5 月 25 日（日）に埼玉県の秩父ミュージックパークなどで開催される第 75 回全国植樹祭に協賛し、大野元裕埼玉県知事より感謝状をいただきました。2 月 17 日、さいたま共済会館での感謝状贈呈式には AQ Group 取締役の高埜宗人が出席しました。高埜は「2024 年 3 月に完成した純木造 8 階建て本社ビルは、木材使用料 約 1,700 ㎡で埼玉県産の木材も使用しており、CO2 排出量は鉄筋コンクリート造と比べると約半分に抑えられる。都市（まち）の建物を木造に変えていきたい」と木造建築への思いを話しました。木を植え、育て、切って、使う“活樹”を推進する大野知事も AQ Group の木材利用の取組に大きな関心を寄せていました。

全国植樹祭は国土緑化運動の中心的な行事として、昭和 25 年より天皇后両陛下のご臨席のもと開催されてきた由緒ある伝統行事。全国植樹祭を通し、適切な森林の整備と森林資源の循環利用を推進し、豊かな未来につなげることを目指しています。第 75 回全国植樹祭は約 5000 人規模の開催を予定し、AQ Group からは協賛金のほかに、“活樹”の象徴として 3500 本の「木のストロー」を寄贈します。



世界初 間伐材を利用した「木のストロー」

本社移転2年目。UターンしたAQ Groupと 埼玉県の関わり合い

弊社は1978年に埼玉県で創業し、2007年に本社を東京都新宿区へ移転。2024年5月に再び本社を創業の地である埼玉県へと移しました。2005年より、埼玉県住まいづくり協議会の会長を宮沢は7年間務めたこともあり、ゆかりのある埼玉県へ思いは強く、今後も埼玉県とともに、「木造建築復興」「木の素晴らしさ」を世界に発信し続け、「埼玉県への恩返し」につなげてまいります。

「AQ Group と埼玉県」

- 1978年10月 埼玉県にて創業
- 2005年5月 埼玉県住まいづくり協議会
宮沢が会長に就任（7年間任務）
- 2021年12月 埼玉県庁へ訪問し大野知事と対談
- 2022年8月 新社屋起工式に大野知事参列
- 2024年5月 本社を埼玉県さいたま市に移転
- 2024年6月 木造建築技術研究所を開所
（埼玉県上尾市）
- 2024年7月 本社ビル完成後に大野知事視察



2024年7月AQ Group 純木造8階建て本社ビル
完成後視察に訪れた大野知事（左）と社長宮沢（右）

「木造建築を増やすこと」が最大の木材利用 社会の課題解決のために地球規模のESG経営を推進

日本は寺社仏閣の伝統的建築物に見られるよう、古来より木造建築を主流とし、木とともに街並みをつくってきた歴史があります。日本の木材自給率は、1950年代は95%を超えていましたが、2002年に過去最低の18.8%まで下降。2023年は43%まで回復してきていますが、更なる木材利用が社会課題として求められています。

「木造建築を増やすこと」は最大の木材利用であり、間伐、活用、植樹のサイクルを回して森林を健全な状態に保つことができれば、洪水や土砂災害を防ぐことにもつながります。

鉄やコンクリートに置き換わった日本の建築を「木造建築」に復興させる「Re:Treeプロジェクト」を掲げ、弊社は「木造は地球を救う。ともに、都市に森をつくろう。」というスローガンのもと、住宅はもちろん中大規模建築の木造化を推進しています。2024年3月には世界初※となる純木造8階建て本社ビルを竣工しました。5階建て以下の非木造建築物は16兆円市場規模があり、弊社は2030年に2万户を目指し、全国へ事業展開していきます。

AQ Groupは、「SDGs 未来都市」埼玉県とともに、今後もESG経営を継続していきます。



木造技術研究所内「構造実験棟」
500㎡超の無柱大空間の木造建築



普及型純木造ビル
川崎5階建てモデル



世界初※純木造8階建て
AQ Group 本社

※世界初 ①純木造8階建の耐震工法（免振装置を使わない）②構造体を木のあらわして使用している面積割合

③工期最短：6000㎡超の純木造で17ヵ月④価格最小：今までの木造ビル建設費の1/2の費用（坪145万円） 自社調べ



AQ Group

<本件について報道関係の皆様からのお問い合わせ先>

株式会社AQ Group 広報課 佐藤 芳山

TEL : 048-620-4536

Email : aqura_pr@aqura.co.jp

AQ Group Website : <https://www.aqura.co.jp/>